

日亞間國際電話開通

相互隔んと地球上の両極端に位置し乍ら、互に精神上、物質上の關係の緊密化を求めてやまない日本と亞爾然て両国の相呼びかける声が去る毎日から無線電話互通じて明確に取扱し得る様にあり。はるばる一万八千四百キロを距てた日亞兩国の友交が電波を以て往来する事は、兩國の聲音が東洋と西洋、北半球と南半球との云ふ大き位置の差を征服し、音波の傳播最困難される昼夜の環をも突破して、暖かい悦びのメッセー^ジとより、交換される日が遂に今日到来するに至つた。

電報から半官半民の亞國々を
交更して以至最初の国際間
距離電話開通でありて、亞國
信史上に黄金文字を以て記さ
べき争柄であり、現在の通信
の最大能力を具現したとのと云
る過言ではありのである。

(東京八日) 昨年十一月南洋方面漁業状況調査のため海岸漁業振興協会より派遣された同協会常務理事高山春太郎は既に豪洲、南洋諸島植民地方面の視察を終へ九日朝横浜に着するが、石調査に基づく我が南洋方面への漁業進出計画の具體化は各方面よりは現に少くころなく、我が

長問題 改正 文教刷新、義務教育年限延
立候院議員選挙法の根本的
な問題 勉強改革の三項目に引き

吉田と近衛公は語る
会見後

現内閣自由の
新政策項目一擧決定

(東京八日)林内閣の新政策決定
午前首相官邸に開かれ、前日に引
き続き、閣議一決せざる場合は
午前内閣の政策として内外
に臨むべき具体的政策につき協
議を續行、主として行政機構整備
改全・衆議院議員選挙法の根本的
な問題 勉強改革の三項目に引き

新党樹立は立派である

(東京八日)政府は議会解散後の政局安定策
としては、所謂時局認識左有する新党樹立の
世ふしとし、既成政党のそぞろ意圖を織り交
た新党の結成を希望してゐるが、組織大會を辦する前より現
てゐるが一方昭和國同、東邦の各小会議並びに既成政党の一部
では最近各種の手づる

会合

左求めては政府の眞意を打診すると共に新党樹立の場合
に備へ自流の立場を有利に展開す
べく備へり、ある、此に対し林首
相としては極めて慎重なる態度を
示す

林首相は既成政党のみに限定せず
凡ゆる革新派を網羅し、各方面の
意向を混然一体とした新党を結成
すべきである旨左右説し、遂に意
見一致を見ると至らかにいた由で
中より時局認識左有する者と糾合
し、結成せんとするの意見に対し
は政民等の既成政党

林

(東京八日)林首相との会見後
近衛議長は左の如く語りた。

林首相が騎馬氣氛のは譬如御会
見一一致を見ると至らかにいた由で
中より時局認識左有する者と糾合
し、結成せんとするの意見に対し
は政民等の既成政党

林

(東京八日)林内閣の新政策決定
午前内閣の政策として内外
に臨むべき具体的政策につき協
議を續行、主として行政機構整備
改全・衆議院議員選挙法の根本的
な問題 勉強改革の三項目に引き

総裁は近衛公か廣田前首相か
林首相新党出現を切望

林首相の抱負は現在に至ると何等
變りのあり、然して新党の司に當る意は
として自らその司に當る意は

ぶく、近衛公を最適任としての
が、同公の出馬は相当困難な事情
があるのを、その場合廣田前首相

八日の近衛公訪問に際して予め
右に對する公の意見を打診したと
のと見らるが、公は立つ意向が
子模様で、新党問題が今後の成行

は各方面から極めて重視されてゐる。

御 礼

本校第三四回運動会開催に當り多
大の御賀附に願り厚く御礼申上ト

昭和十二年四月十日

在亞日本語小学校

記(署敬稱)

佐久川範昌

石川倉次郎

置時計アカーテ

在亞蔬果同

村武蒲鮮店

古庄東江

清吉、萩野貞男、山崎深雄

永田健二、渡辺孝、岸本王風

正金五郎、上嘉路英、生城

嘉牛質、小椋尊一、辻清子

中島柏子、石川洋

大城正雄

高橋朝展、吉川六郎

英國陸上後御の予定

(倫敦七日) 爵父御名代の宮 同妃殿下は四月二十日深更巨船クイーンメリーラ号でサマンプトン御到着。十三日倫敦郊外ホーヴ市に向はせられ、五月十日戴冠式直前倫敦に御出ましである。非公式の御資格で御席在の御予定でありたが、天長節其他の御儀式につき支障あり。英國宮内相司の申出により、両殿下は英國へ御上陸と同時に公式の御資格を御持続を受けさせられることになり、從つて御上陸の際には英國皇室直接侍員ロウキエ卿が陸軍省代表にユウ少將、海軍省代表アダムス大佐等と共に御出迎申上が十三日午前六時半、ホテルに入らせられ、や、英帝子ヨーナ五世の弟君の一人、多分グロスター公殿下が皇帝御名代として御挨拶申上げられる事と、あらう。

軍艦足柄英國へ航行

（足柄船上にて）七日、軍艦足柄は六日午前呂鷲の東南沖を航行、東京時間午後六時頃、フィリピン群島最北端ヤミ群島を左舷に臨み、ワシントン海峡を通過、支那海に入り、愈々故国を離れたとの感が深い。

觀光宣傳に一大拍車

撮影は米國一流のカメラマン

（東京七日）觀光日本の宣傳紹介（足柄船上にて）七日、軍艦足柄は六日午前呂鷲の東南沖を航行、東京時間午後六時頃、フィリピン群島最北端ヤミ群島を左舷に臨み、ワシントン海峡を通過、支那海に入り、愈々故国を離れたとの感が深い。

（東京七日）觀光日本の宣傳紹介（足柄船上にて）七日、軍艦足柄は六日午前呂鷲の東南沖を航行、東京時間午後六時頃、フィリピン群島最北端ヤミ群島を左舷に臨み、ワシントン海峡を通過、支那海に入り、愈々故国を離れたとの感が深い。

科学界の驚異、人工ラヂウム製造見事に成功

僅か四十分で一円を人造

（東京七日）科学の驚異人工ラヂウムが七日午後理研の人工放射能研究室内の巨大ラヂウム製造機械の実験で物の見事に成功した。三万五千ボルトの電力に轟々鳴らせる廿三屯の機械が始めて作り出した待望のラヂウムはやりと立、六十ミリ瓦の微量たりだが、そこで一瓦廿万円とすれば一万円以上

の高價かとのである。第一回の実験には約一匁の銀塊を四十秒間に造つたが、四十秒間に一万円をもたらすわけだ。この成功に悦こんだ理研では、續りて大量生産のため二百十石の大製造機を五箇所作する計画を実現すべく、その予算として十一万円が決定した。

西安事件のヒロイン宋美齡から日本女性へ愛のメッセージ

（東京七日）西安事変のヒロイン蔣介石夫人宋美齡から日本全女性に宛てた愛のメッセージが東京聯合入会々長吉岡弥生女史のとどけられた。去る三月初旬、女史は齊魯女史を、去る三月初旬、女史の委嘱を受けて宋夫人を女入祭制の軍官学校内に訪れ、日本の末朝方友懇請して清水安達夫人侑子さんを通じて届いたので、宋夫人は母校米国のウエブデー大学訪問者を接待するに余りある、明治四年在観光司横田事務官の手により外人カメラ技師によりて日本各地の風景写真を撮影、各國に配給し、その巧妙なカメラ技術は好評の有り、高級コンタクスと有ります。

（東京七日）觀光日本の宣傳紹介（足柄船上にて）七日、軍艦足柄は六日午前呂鷲の東南沖を航行、東京時間午後六時頃、フィリピン群島最北端ヤミ群島を左舷に臨み、ワシントン海峡を通過、支那海に入り、愈々故国を離れたとの感が深い。

KEROFIX
DEL SR. ALEMAN (MARTIN)
M. SEITZ & Cia.

PLATINUM
CARBON
KE MADORES
DE KEROFIX
PRODUCTION
TALLERES CHARICAS 4511
U.T. 71 - 9998

（東京七日）觀光日本の宣傳紹介（足柄船上にて）七日、軍艦足柄は六日午前呂鷲の東南沖を航行、東京時間午後六時頃、フィリピン群島最北端ヤミ群島を左舷に臨み、ワシントン海峡を通過、支那海に入り、愈々故国を離れたとの感が深い。

（東京七日）觀光日本の宣傳紹介（

10 de Abril de 1937

El "Argentin Dijo"

Año XIV Nro. 677 (10)

海軍無條約時代が来て、無條約
必ずしも建艦競争を意味するか
けではないが今日の如き世界の大
軍拡時代にあつては、無條約が直
ちに建艦競争となる危険性は多
分にある。現に英米を中心とした
伊日等列強の新建艦政策をテ
マとして世界の大新聞、海軍通は
既に建艦競争不可避を論じてゐる。
建艦競争と云へば、誰れでも
もがの世界大戦の道筋火線とあつ
た往年の英独海軍競争や英荷
会議直前の海軍競争を想起す
るだらうが、末るべき否規は直
面しつゝある建艦競争はそれ
に比べて一層大規模且つ深刻

海軍無條約時代が来て、無條約
必ずしも建艦競争を意味するか
けではないが今日の如き世界の大
軍拡時代にあつては、無條約が直
ちに建艦競争となる危険性は多
分にある。現に英米を中心とした
伊日等列強の新建艦政策をテ
マとして世界の大新聞、海軍通は
既に建艦競争不可避を論じてゐる。
建艦競争と云へば、誰れでも
もがの世界大戦の道筋火線とあつ
た往年の英独海軍競争や英荷
会議直前の海軍競争を想起す
るだらうが、末るべき否規は直
面しつゝある建艦競争はそれ
に比べて一層大規模且つ深刻

英米の建艦能力 人建艦競争の一指標

それにしても一体列
国は斯る大
規模且つ深

新ある建艦
論この問題に答へるために多く
の要素就中國家財政の耐久力
及び建艦工業能力を調査する
必要があること云ふ迄もあり。こ
とは英米両海軍国についで後者
の概略を述べて見る。

ところで最も激化せる戦争相以
り建艦競争時代、或は戦時に發揮
されるイギリスの最高建艦能力は
どうか、前述の平均廿万トンの四
倍即ち八十万トンといふ計算にある。
とりも遠ざけて此は世界大戦當時
のそれの二倍にあたる。

竣工までに多大の時間を要費
して、激化せる建艦競争とも
あれば恐らくその期間を半分に縮
めし得るものと思はれるからであ
る。

イギリスの建艦能力

アメリカの建艦能力

次はアメリカであるが、周知の通
りアメリカは軍艦沈没の今日も依然
として所謂條約海軍の建設に
大努力を投注してゐることは確か
である。だから現在のアメリカの
建艦量は直ちにアメリカ平時
の建艦能力とすることは大した
違ひである。ところが昨日
九三六年中に産業復興費、ガイ
シソン案、正規予算によつて竣工
されたもの及び起工中のものと合
計して見ると、その排水量は実
に次の如くあつてゐる。

右によつて見るとアメリカの平時
建艦能力は大体イギリスと同様に

世界大戦から既に廿年近くも経
過した今日依然として世界一の海
軍国を以て自他共に許してゐる英
国の最高建艦能力は累してどの位
なるだらうか？世界の海軍通
は大体左の如く見てゐる。
若し肇府及び倫敦兩條約が今後
續続を結ぶだ五ヶ国以外は更に
独逸及びソ聯がこれに参加する競
争があり、且つまた周知通り主
力艦建造を以てスタートする競争
だからである。さればかりではあ
い。次の競争は列国の軒並的窮迫
は極めて深刻であらう。實に未
だからである。さればかりではあ
い。次の競争は列国の軒並的窮迫
は極めて深刻であらう。實に未
だからである。何故あらば現在のイギリスは
ても、亦た内容に於ても毎年のそ
れとは比較にあらぬものに違ひあ
る。何故あらば現在のイギリスは

高に十年間存続したとすれば、イ
ギリスは現在の兵力を維持す
るために毎年平均八万三千トンづ
つ縮減を結ぶだ五ヶ国以外は更に
独逸及びソ聯がこれに参加する競
争があり、且つまた周知通り主
力艦建造を以てスタートする競争
だからである。さればかりではあ
い。次の競争は列国の軒並的窮迫
は極めて深刻であらう。實に未
だからである。何故あらば現在のイギリスは
ても、亦た内容に於ても毎年のそ
れとは比較にあらぬものに違ひあ
る。何故あらば現在のイギリスは

全	萬	鹽	油	一	五	〇
金	塩	語	本	一	三	〇
櫻	海	老	一袋	一	六	〇
松	青	一	七	一	七	〇
柏	黃	一	七	一	七	〇
楓	白	一	四	一	四	〇
昆	黑	一	一	一	一	〇
布	白	一	一	一	一	〇
若	白	一	一	一	一	〇
花	熟	一	一	一	一	〇
千	大	根	一	一	一	〇
切	大	根	一	一	一	〇
高	豆	腐	一	一	一	〇
野	豆	皮	一	一	一	〇
草	海	苔	大	一	一	〇
海	苔	小	一	一	一	〇
蘆	白	一	一	一	一	〇
粉	玉	一	一	一	一	〇
百	白	一	一	一	一	〇
全	右	二	一	一	一	〇
金	右	二	一	一	一	〇
櫻	右	二	一	一	一	〇
松	右	二	一	一	一	〇
柏	右	二	一	一	一	〇
楓	右	二	一	一	一	〇
昆	右	二	一	一	一	〇
布	右	二	一	一	一	〇
若	右	二	一	一	一	〇
花	右	二	一	一	一	〇
千	右	二	一	一	一	〇
切	右	二	一	一	一	〇
高	右	二	一	一	一	〇
野	右	二	一	一	一	〇
草	右	二	一	一	一	〇
海	右	二	一	一	一	〇
蘆	右	二	一	一	一	〇
粉	右	二	一	一	一	〇
百	右	二	一	一	一	〇
全	右	二	一	一	一	〇
金	右	二	一	一	一	〇
櫻	右	二	一	一	一	〇
松	右	二	一	一	一	〇
柏	右	二	一	一	一	〇
楓	右	二	一	一	一	〇
昆	右	二	一	一	一	〇
布	右	二	一	一	一	〇
若	右	二	一	一	一	〇
花	右	二	一	一	一	〇
千	右	二	一	一	一	〇
切	右	二	一	一	一	〇
高	右	二	一	一	一	〇
野	右	二	一	一	一	〇
草	右	二	一	一	一	〇
海	右	二	一	一	一	〇
蘆	右	二	一	一	一	〇
粉	右	二	一	一	一	〇
百	右	二	一	一	一	〇
全	右	二	一	一	一	〇
金	右	二	一	一	一	〇
櫻	右	二	一	一	一	〇
松	右	二	一	一	一	〇
柏	右	二	一	一	一	〇
楓	右	二	一	一	一	〇
昆	右	二	一	一	一	〇
布	右	二	一	一	一	〇
若	右	二	一	一	一	〇
花	右	二	一	一	一	〇
千	右	二	一	一	一	〇
切	右	二	一	一	一	〇
高	右	二	一	一	一	〇
野	右	二	一	一	一	〇
草	右	二	一	一	一	〇
海	右	二	一	一	一	〇
蘆	右	二	一	一	一	〇
粉	右	二	一	一	一	〇
百	右	二	一	一	一	〇
全	右	二	一	一	一	〇
金	右	二	一	一	一	〇
櫻	右	二	一	一	一	〇
松	右	二	一	一	一	〇
柏	右	二	一	一	一	〇
楓	右	二	一	一	一	〇
昆	右	二	一	一	一	〇
布	右	二	一	一	一	〇
若	右	二	一	一	一	〇
花	右	二	一	一	一	〇
千	右	二	一	一	一	〇
切	右	二	一	一	一	〇
高	右	二	一	一	一	〇
野	右	二	一	一	一	〇
草	右	二	一	一	一	〇
海	右	二	一	一	一	〇
蘆	右	二	一	一	一	〇
粉	右	二	一	一	一	〇
百	右	二	一	一	一	〇
全	右	二	一	一	一	〇
金	右	二	一	一	一	〇
櫻	右	二	一	一	一	〇
松	右	二	一	一	一	〇
柏	右	二	一	一	一	〇
楓	右	二	一	一	一	〇
昆	右	二	一	一	一	〇
布	右	二	一	一	一	〇
若	右	二	一	一	一	〇
花	右	二	一	一	一	〇
千	右	二	一	一	一	〇
切	右	二	一	一	一	〇
高	右	二	一	一	一	〇
野	右	二	一	一	一	〇
草	右	二	一	一	一	〇
海	右	二	一	一	一	〇
蘆	右	二	一	一	一	〇
粉	右	二	一	一	一	〇
百	右	二	一	一	一	〇
全	右	二	一	一	一	〇
金	右	二	一	一	一	〇
櫻	右	二	一	一	一	〇
松	右	二	一	一	一	〇
柏						

Año XIII N°. 677

EL "ARGENTIN DJIJO"

Correo Argentino
Tarifa Reducida
Concesión 718

Buenos Aires, sábado 10 de Abril de 1937

SECCION CASTELLANA

Dirección: USPALLATA 981 U. T. 23-7051

Disolución de la Cámara de Representantes de la Dieta Imperial

Las informaciones periodísticas han anunciado que fué disuelta la dieta japonesa, o sea su parlamento. Es un error, suponerse que la Dieta, compuesta de dos Cámaras, de los Pares y de Representantes o Diputados, pueda ser disuelta en el Japón. La Constitución Imperial del Japón establece que puede ser disuelta la Cámara popular o de Representantes del pueblo, lo que equivale a apelar a la opinión pública del Imperio sobre la disidencia existente entre el gobierno y el pueblo, con la intención de renovar sus representantes. El pueblo responde con sus votos en pro o en contra del gobierno.

La Constitución del Japón da una garantía hacia la Dieta, pues el decreto Imperial que ordena su disolución indica la fecha de la elección a realizarse, debiendo además, según la provisión del artículo XLV de la Constitución, ser convocada la Cámara dentro de los cinco meses de la fecha de la disolución.

Naturalmente, la medida pertenece para casos extraordinarios. El gobierno sólo hace uso de ese privilegio, y previo consentimiento del soberano el Emperador, cuando estima que la Cámara no representa la opinión genuina de la nación.

Nosotros no estaríamos calificados para apreciar respecto a la actitud del Gabinete Hayashi que, a las puertas de la clausura de las sesiones ordinarias, se ha visto obligado a proceder a la disolución de la Cámara; pero, dejamos constancia de que el acto no significa violación de la Constitución, si bien puede haberse equivocado en la estimación de la situación de la composición de los representantes en la circunstancia actual del Japón.

La actitud adoptada por el Gabinete del General Hayashi, que la mayoría de la opinión pública del Japón le pronosticó una duración corta, que en resumidas cuentas no ha variado nada substancialmente a los planes del gabinete anterior presidido por el señor Hirota, y la serena, pero firme actitud de la Dieta, fiel a la tradicional lealtad al Soberano, que ha tratado con prudencia y respeto al Gabinete, presentan un contraste que no le favorece nada al primero.

Veremos, pues, en esta emergencia la capacidad real del pueblo japonés, al cual le corresponde la responsabilidad y el derecho de resolver este conflicto político, de cuya solución dependerá el porvenir político del Imperio. Las elecciones del 30 de abril dirán, por intermedio de los 14 millones de votantes, si tenía o no razón el general Hayashi de recurrir a la disolución de la Cámara.

Si los ciudadanos electores del Japón, después de cerca de 50 años de práctica constitucional, resultasen ineficaces para resolver satisfactoriamente la grave crisis política por qué atraviesa el Imperio, ello significará que necesitan todavía de gobierno burocrático en vez de democrático, para ser gobernados en lugar de gobernarse.

SINTONICE EL PROGRAMA DE LA

Osaka Shosen Kaisha

todos los miércoles a las 19 horas.

POR  RÁDIO EXCELSIOR

Por otra parte, nosotros creemos como el embajador Saito, quien en un discurso pronunciado en Washington el 30 de marzo, dijo: que es evidente que el Japón no está bajo la dominación de ningún dictador, ni facción militar, a pesar de tener a un general por primer ministro, que no tiene nada de extraño, si analizamos nuestra historia, sin que sea menester mencionar aquí que la Argentina tiene también en este momento un presidente general, que tanto ha hecho por la paz y aspira hacer más por la democracia.

ponesa y la de la Argentina, unida por mecanismo y las ondas cortas a través de una distancia de 18.400 kilómetros, mediante el concurso de las grandes estaciones pertenecientes al Gobierno del Japón y a la Telecomunicaciones Internacionales de la Nación Argentina.

Con este nuevo circuito telefónico, que es el más extenso en el mundo, quedarán comunicadas entre sí las principales ciudades de ambos países, como cuadra perfectamente para dos de las naciones más progresistas del siglo.

Con tal motivo se realizaron dos actos similares simultáneamente en Tokio y en Buenos Aires, con asistencia de altas autoridades nacionales, representantes diplomáticos y de las principales instituciones comerciales, periodistas y otros invitados.

El de esta capital se efectuó en uno de los salones del edificio central de la Transradio, calle San Martín y Sarmiento, que ha sido arreglado convenientemente con varios aparatos telefónicos y altoparlantes, éstos para que los concurrentes puedan escuchar las voces de los interlocutores.

La primera comunicación estuvo a cargo del Ministro del Interior argentino, Dr. Castillo, y del Ministro de Comunicaciones del Japón, Conde Kodama. A continuación, hablaron los doctores Saavedra Lamas y Sato, Ministros de Relaciones Exteriores de la Argentina y del Japón; ex-Ministro del Japón en la Argentina, señor Yamasaki con el Almirante Domecq García; Encargados de Negocios de ambos países, señores Terajima y Montenegro con los subsecretarios de sus respectivos ministerios, etc.

Todos, y con entusiasmo, formularon votos por el mayor estrechamiento de las relaciones argento-japonesas.

LOS PRÍNCIPES CHICHIBU, EN VIAJE

Nueva York, abril 6. — Llegaron hoy Sus Altaszas el Príncipe y la Princesa de Chichibu, de paso para Londres, en donde, asistirán a las ceremonias de la Coronación del Rey Jorge VI, en representación de los Emperadores del Japón.

Los augustos viajeros que fueron huéspedes de honor durante varios días en el Canadá, fueron recibidos aquí oficialmente. Los príncipes Chichibu, partirán a bordo del Queen Mary hacia Inglaterra.

CASAMIENTO PRÍNCIPE CO MANCHUKUO-JAPONES

Tokio, abril 3. — Esta mañana en el salón de fiesta del Círculo Militar, situado frente al Templo de Kōdaiji, brillantemente adornado con las flores de cerezo, realizóse la ceremonia del casamiento de la señorita Hiroko Saga, nieta del marqués de Saga con el teniente Pu Chiles, hermano del Emperador de Manchukuo y heredero aparente al Trono.

¡Beba buen café!

EL CAFÉ DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores cafés que se importan del Brasil, tostados y con un 10% de azúcar abrillantado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se expenden, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduza Vd. y prefiera el

CAFÉ DE SANTOS "AGUILA"
ES UN PRODUCTO SAINT.

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolíja - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

OPINA EL PRESIDENTE DEL BANCO DEL JAPON

Tokio, abril 4. — El señor Ikeda, presidente del Banco del Japón, opinando sobre la carestía de los productos, dijo: que para contrarrestar el alza de los precios de los productos, lo esencial sería en las circunstancias actuales del país, aumentar en lo posible la producción, citando como ejemplo el caso de Alemania.

VUELO DE TOKIO A PARIS Y LONDRES

París, abril 7. (United). — El aviador Masaki Inouma y el radiotelegrafista y mecánico Tukagoshi, ambos japoneses, tripulando un monoplano denominado "Kamikaze", vuelan por la ruta de la India con grandes posibilidades de llegar a París y Londres a los cinco días de su partida de Tokio y mejorar los "records" de velocidad existentes.

El aparato que utilizan es un monoplano de las fábricas de la firma Mitsubishi, tipo metálico, dotado con un solo motor de 550 caballos de fuerza de fabricación nipona. El trayecto de Tokio a Vientiane lo cubrió a una velocidad hora-ria de 270 kilómetros.

EXPOSICION INTERNACIONAL DE TOKIO

La Comisión Organizadora de la Exposición Internacional de Tokio de 1940, ha resuelto fijar el presupuesto en 20.000.000 de yens.

La superficie que ocupará la citada exposición

será de 330 hectáreas, debiendo instalarse una parte en Yokohama.

CONCURSO DE DISCURSOS

La Asociación de Jóvenes Nipones, residentes en la Argentina, realizó un concurso de discursos entre sus asociados, que se llevó a cabo el domingo último. El salón de la Asociación Japonesa resultó pequeño para la enorme concurrencia que asistió al interesante acto, tan simpático como ilustrativo, que ha merecido el aplauso unánime de los residentes en esta capital.

Las reuniones de esta naturaleza, sana y educativa, debidamente conducidas, no sólo estrechan las relaciones de amistad, sino que sirven para elevar el nivel intelectual de los jóvenes.

Felicitamos a los organizadores y deseamos a la Asociación de Jóvenes Nipones un desenvolvimiento feliz.

LA ESTRELLA DE CUYO

Señor Heizo Hoshi

Estuvo en Buenos Aires, en la semana pasada, el señor Seizo Hoshi (Hoshi, traducido al castellano, es: Estrella) conocido fruticultor japonés radicado en la provincia de Mendoza desde hace veinte años, en donde, con su inteligencia y labiosidad, supo labrar su fortuna.

El señor Hoshi, además de ser apreciado como "pioneer", es considerado en el círculo conocido por su generosidad para con los jóvenes que se interesan en las tareas del campo.

Actualmente residen en la provincia de Cuyo, unos setenta nipones, quienes miran al señor Hoshi como su estrella, estrella que con su ejemplo y consejos, los guía.

El señor Hoshi, fué agasajado en ésta por un grupo de amigos, algunos de los cuales no le habían visto desde hace más de 25 años, festejando su éxito.

LLEGADA DEL Sr. ZOJI AMARI

A bordo del motonave "La Plata a Mrú", llegó el señor Zoji Amari, que estuvo ausente de ésta más de un año.

DOCTORA VIOLETA GLADYS SHINYA

Profesora del Colegio Nacional de la Capital

La Dra. Violeta Gladys Shinya, profesora de la Escuela Normal de La Plata, ha sido trasladada al Colegio Nacional, de Flores de esta Capital, donde desempeñará la cátedra de castellano.

PROXIMA EXPOSICION DEL ARTE JAPONES MODERNO

Anúnciase que se inaugurará próximamente otra exposición de Arte Japonés Moderno, organizada por la firma Yamanaka, de esta Capital.

CURSO DE IDIOMA JAPONES

Está abierta la inscripción para el curso de idioma japonés que se dicta en el Instituto de Cultura Argentino-Japones del Museo Social Argentino, Viamonte 1435.

"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904 SARMIENTO 470 BUENOS AIRES	A. HANAFUSA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 33-5489	F. KANEMATSU y Cía. Ltda. Importaciones y Exportaciones JUJUY 136 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824	S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 38 Avda. 5744
K. ANNO The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4081	S. YAMADA y Cía. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4854 y 4406	PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS Avda. ROQUE SAENZ PEÑA 989 U. T. 35-7632 8.º piso Oficina D	LA MAISON SATUMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 44-4392 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837
H. KATO Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841	IIDA y Cía. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PEÑA 162 U. T. Mayo 38-3419	M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 38-2688	Sastrería JAPONESA Fundada en el año 1916 de S. KATAYAMA PIEDRAS 572 - U. T. 33-5452
SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Cepillería LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 321P	R. HARA y Cía. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9437	S. ANDO y Cía. Importadores BERNARDO DE IRIGOYEN 143 U. T. Mayo 38-1402	GUIA JAPONESA LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. — U. T. 31-3193.
KATSUDA y Cía. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313	CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782	JIRO HONDA y Hno. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718	CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-3193.
B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 733 - U. T. Mayo 38-3413	S. YOKOBORI Representante de FUJISAKI y Cía. CANGALLO 499 3er. Piso Escr. N.º 21-22 - U. T. 33-9390	Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846	CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. — U. T. 33-1452.
I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 1051	TARO MURAI Unica Casa Introduuctora de Porcelana "NORITAKE" MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-3180	K. YASUNAGA Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 - U. T. 33-7769	INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435.
			ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. — U. T. 23-4893.
			COMPANIA DE VAPORES O. S. K.: CANGALLO 462 U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 3565